

卒業生からの言葉



栗本 尚明 君

2020年度入会し、もう少しで3年が経とうとしています。短い期間ではありましたが、多くのことを経験し学び成長する機会をいただいたことに感謝いたします。私が入会した2020年は、新型コロナウイルス感染症が世界的に流行した年でもありました。多くの制限がある日々が続く中でも、止まることなく活動が出来たこと、ふるさとの未来のため真摯に向き合い活動に取り組めたこと、そして志を同じくする仲間が出来たことは、人生の中でも誇れることだと思っております。忙しい中でも想いを共感してくれ共に活動してくれた会員、活動を理解し支えてくれた家族、そして私自身に関わる全ての人々に感謝いたします。3年間お世話になりました。

2020年入会 パーソナルブランディング向上委員会 委員
2021年 戦略総務推進委員会 委員長
2022年 ITリテラシー向上委員会 副委員長



佐古 洋 君

青年会議所活動を通して、多くの経験と仲間を得ました。あと数か月と思うと、改めて、まだまだしたいことが沢山ある、もっともっと皆さんと共に活動したいと思えます。青年会議所の魅力はと良く聞かれますが、十人十色で様々な意見や考えがありますが、限られた時間で精いっぱい活動し、まだまだ足りないと思えるほどの魅力が沢山あります。これからの青年会議所活動を担う皆様、在籍年数は戻すことはできませんが、残りの時間を精一杯、有効に使い、私の今の立場になった時に、やり切った悔いがない、そんな気持ちになれるくらい楽しんで下さい。そう思ってもきっとまだ続けたい、そのような一般社団法人大竹青年会議所を築き上げて下さい。

2022年入会 専務理事・ITリテラシー向上委員会 委員



中村 仁 君

入会して早いもので1年が経ちました。昨年大竹の地に移り住み、人脈作りという軽い気持ちで大竹青年会議所に入会しました。猛呼訓練という修練を乗り越え、愛の献血活動に奉仕し、志を同じうする方たちとの友情を築き上げたこと。とてもかけがいのないものを手に入れることができました。もっともっと青年会議所活動をしたかったというのが正直な思いです。最初はJCバッジを付けて屋外を歩くことに恥ずかしさを感じておりました。自分に自信がなかったのだと思います。それが晩年には、バッジを付けることに誇りをもてるようになりました。人間的にも成長させてくれた青年会議所に本当に感謝しかありません。ありがとうございました。

2022年入会 ITリテラシー向上委員会 委員

新入会員紹介～ようこそ大竹青年会議所へ～

令和4年8月より大竹青年会議所に入会致しました政岡です。ここ最近新しい事へチャレンジする事が無くなったと感じている中で大竹JCのメンバーの方々から入会のお声がけを頂きました。入会するか正直迷いましたが「たれば」を考えチャレンジしなければ自分自身成長は見られないと思いを決し入会致しました。入会から間もない為まだ右も左も分からない状態ですが活動を通じ少しでも多くの発見や出会いがあればと思っています。

38歳 障害年金窓口【つむぐ】 社会保険労務士

政岡 講太 君



新入会員の大田篤と申します。生まれも育ちも大竹市ではありませんが、ご縁を頂き、大竹青年会議所の一員として活動させて頂くことになりました。地域がより良くなるよう、自分の出来ることを考え、一生懸命やっていきたいと考えております。また、今後のJCの活動を通して自分自身の成長にも繋げたいと思っております。至らぬ点も多々あると思いますが、今後ともご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

35歳 バウムクーヘン歯科クリニック 歯科医師

大田 篤 君



JCI 2022.12 vol.30

OTAKE

一般社団法人大竹青年会議所 | Junior Chamber International Otake

私たちは持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています



ホームページ・Facebook・Instagram

大竹青年会議所 検索



光陰矢の如しという1年が過ぎようとしています。本年度は所謂恒例行事もある程度復活し、地域も青年会議所も活動に制限はありながらも、久しぶりに躍動感ある年になったと感じます。当会としては同世代を巻き込み、内に外に精力的に活動することができました。理事長としてこの年この会員に担いでいただいたことを本当に嬉しく思います。

また、皆がこの1年「輪」をもって目的を「達」成し、そのための「道」を辿ることで、轍という道標を残す事ができたのは、会員の家族、社員の皆様、そして先輩諸兄をはじめとされる、活動に理解いただいた皆様のご支援とご協力があつたからこそであると深謝しております。1年間誠に有り難うございました。

理事長 河野 大輔



広報誌 vol.30 目次

表紙：【2022年度を終えて】河野理事長
見開き：2022年度の轍・各委員会総括
裏表紙：卒業生挨拶・新入会員紹介

2022年度スローガン



OTAKE 2022年12月発行 VOL.30

編集発行 一般社団法人大竹青年会議所
〒739-0612 大竹市旭見3丁目18-11 大竹商工会議所内

TEL: 0827-52-8006 FAX: 0827-52-5360
HP: https://www.otakejci.com/

2022年の轍



1/7
新年祈願祭

1/28
1月通常総会



1/7
新年例会

1/29
新春会議



3/1
献血推進活動

3/26 3月例会
LOM新入会員セミナー



4/1
4月(2月延期)例会

4/7
4月ブロック会長
公式訪問例会



4/30 広島ブロック
ゴルフ大会
in 庄原

会員拡大会議(年5回開催)



5/7
5月例会



拡大交流会(年4回開催)

6/7
6月例会



6/11 広島ブロック
アカデミーin尾道

6/19
中国地区
コンファレンスin松江



7/7
7月家族例会



7/9 広島ブロック
野球大会in三原

8/6
8月例会



9/4 広島ブロック
大会in府中

8/26 8月通常総会



9/28
ITリテラシー向上勉強会



10/5~9
全国大会in大分



10/18
10月合同例会

11/7
11月例会



12/7
納会・卒業式

12/27
12月通常総会

1年間の活動を終えて～強く刻んだ3本の轍～



ITリテラシー向上委員会 委員長 小田 一輝 君

当委員会は1年間ITリテラシー向上を軸に「新しい価値の創造に挑戦することのできるリーダー」を目指しました。IT技術の発展は近年目覚ましいものがあります。これから起こる変革に対応でき、活用することで新しい価値の創造に挑戦できる人財が必要となると考えたからです。

5月例会で「プログラミング的思考の有用性を認識する」をテーマに小学校から必須化となったプログラミングについて考え方を学びました。8月例会では「変革に向けて意識を変える」をテーマにIT技術の基礎知識とDX(デジタルトランスフォーメーション)について学び、組織内でのIT技術を用いた効率化、変革について学びました。

11月例会では集大成として「未来を見据えたIT技術の価値創造力を高める」委員会タイムを実施しました。最新のIT技術の概要を知り、これからどのような社会が形成されていくのか、大竹市を含め地域としてどのような活動を展開すれば良いかをIT技術の目線から考えました。

1年間を通じてITの考え方、技術、そしてこれらについて会員と学んでくれたことで、自身もよりIT技術について調査、研究する機会を得ることができました。このようにして青年会議所会員は皆で成長するのだと感じる1年でした。こうして皆で成長の轍を残すことができたのは大竹青年会議所会員、そして支えてくださった皆様のおかげです。ありがとうございました!

会員拡大実行委員会 実行委員長 高橋 央史 君

明るい豊かな社会の実現のため、未来を見据えた活動をしていく中で、自らもその轍となるべく1年間実行委員長を務めさせていただきました。本年度は、まずは拡大候補者の方に、青年会議所に興味をもっていただくこと、共に時間を過ごすきっかけをつくることから、青年会議所の魅力を知ってもらうための活動を行ってまいりました。

これまでは青年会議所の活動に参加していただく、ということを中心に拡大活動をしてまいりましたが、本年は拡大候補者の方を中心に事業を行うこととし、具体的には候補者の方に、その専門分野でのご講演をいただく活動をしてまいりました。最新の歯科治療の話や、年金の基礎をお話いただいた中で、会員自身、多くのことを学ばせていただき、同時にその活動から入会に繋がったことは、実行委員長として嬉しく思います。

今後とも拡大活動に邁進してまいりますので、何卒よろしくお願ひ申し上げます。



ブランドコミュニケーション戦略委員会 委員長 中野 友博 君

本年度当委員会では、【会員活動に自信を付ける攻めの広報】をテーマに、1年間活動を行ってまいりました。SNSを中心とした対外に向けた広報活動と同時に、地域に住まう青年経済人として行政情報や、大竹市の情報共有、魅力ある会員の姿など、対内に向けての情報共有にも力を注いできました。それはひとえに、40歳までの青春と言われる青年会議所活動の楽しさや、やり甲斐を大いに感じて頂き、自信を持って活動することで、拡大活動にも繋げてほしいとの想いからでした。

令和時代の大竹青年会議所を創りたいとの想いから、会員間でのコミュニケーションをいかに活発にできるかが課題でした。知識や志だけでなく、安心して活動できる環境作りも、総務部門の役目だと改めて勉強させて頂きました。本年度も魅力あふれる会員のお陰で、力強い轍を刻む事ができました。この会は本当に最高です。1年間ありがとうございました。

